

官報

號外

昭和十八年二月十八日

○第八十一回貴族院議事速記録第十號

昭和十八年二月十七日(水曜日)午前十時四分開議

議事日程 第十號

昭和十八年二月十七日

午前十時開議

第一 交易營團法案(政府提出、衆議院送付)

第二 木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第三 昭和十六年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第四 昭和十六年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第五 昭和十六年度特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第六 昭和十七年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第七 昭和十七年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

第八 昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付)

會議

第九 北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第十 多獅島鐵道株式會社所屬新義州南市間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(伯爵松平賴壽君) 諸般ノ報告ハ、御異議ガナケレバ則讀ヲ省略致シタイト存ジマスルガ、御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

一昨十五日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

戰時刑事特別法中改正法律案

同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル與羽本線横手、羽越本線羽後本莊ノ兩驛間ヲ豫定線ニ編入シ横莊鐵道未成區間速成ノ請願外八件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和十六年度歳入歳出總決算、昭和十六年度各特別會計歳入歳出決算審査報告書臨時陸軍材料資金歳入歳出決算審査報告書

昭和十六年度國有財産増減總計算書審査報告書

昭和十七年三月三十一日現在國有財産現在額總計算書審査報告書

昨十六日臨時利得稅法中改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵酒井 忠正君
副委員長 男爵東郷 安君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

多獅島鐵道株式會社所屬新義州南市間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案可決報告書

義務教育費國庫負擔法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

交易營團法案

木炭需給調節特別會計法中改正法律案

昭和十六年度第一豫備金支出ノ件

昭和十六年度特別會計第一豫備金支出ノ件

昭和十六年度特別會計豫備費支出ノ件

昭和十七年度第二豫備金支出ノ件

昭和十七年度特別會計第二豫備金支出ノ件

昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日の會議ヲ開キマス、去ル十五日松村眞一郎君ヨリ、公務旅行ニ付、石油專賣法案外一件ノ特別委員辭任致シタキ旨、申出ガゴザイマシタ、許可ヲ致シテ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、就キマシテハ、其ノ補闕トシマシテ、白根竹介君ヲ御指名致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第一、交易營團法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、岸商工大臣

〔左ノ案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

交易營團法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十八年二月十六日

衆議院議長 岡田 忠彦

貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

交易營團法案

第一章 總則

第一條 交易營團ハ戰時ニ際シ國家經濟總力ノ増強ヲ圖ル爲交易ノ締制運營ヲ爲スト共ニ重要物資ノ貯藏ヲ確保及増強シ茲ニ貯藏重要物資ノ利用ヲ有效且適切ナラシムルコトヲ目的トス

交易營團ハ法人トス
本法ノ重要物資ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 交易營團ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

交易營團ハ政府ノ認可ヲ受ケ必要ノ地

ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 交易營團ノ資本金ハ三億圓トシ之ヲ三百萬圓ニ分チ一口ノ出資金額ヲ百圓トス但シ資本金ハ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増加スルコトヲ得

第四條 交易營團ハ出資ニ對シ出資證券ヲ發行ス

前項ノ出資證券ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 政府ハ二億五千萬圓ヲ交易營團ニ出資スベシ

前項ノ出資ハ國債證券ヲ交付シテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

政府ノ引受ケタル出資ノ出資金拂込ハ其ノ他ノ出資ノ出資金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得

第六條 交易營團ハ定款ヲ以テ出資者ノ資格ヲ制限スルコトヲ得

第七條 交易營團ノ出資者ノ責任ハ其ノ出資額ヲ限度トス

出資者ハ交易營團ニ拂込ムベキ出資額ニ付相殺ヲ以テ之ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條 出資者ハ交易營團ノ承認ヲ經テ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得

第九條 拂込ヲ怠リタル出資者ニ對シ交易營團ガ一月以上ノ相當ノ期間ヲ定メ拂込ノ請求ヲ爲シタルニ拘ラズ出資者ガ拂込ヲ爲サザルトキハ交易營團ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ出資者ノ持分ヲ處分スルコトヲ得

交易營團ハ持分ノ處分ニ依リテ得タル金額ヨリ滯納金額及定款ヲ以テ定ムル違約金ノ額ヲ控除シタル金額ヲ從前ノ出資者ニ拂戻スコトヲ要ス

持分ノ處分ニ依リテ得タル金額ガ滯納金額ニ滿タザル場合ニ於テハ交易營團ハ從前ノ出資者ニ對シ不足額ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得

前三項ノ規定ハ交易營團ガ損害賠償及定款ヲ以テ定ムル違約金ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

出資者ガ第一項ノ期間内ニ拂込ヲ爲サザルトキハ交易營團ハ其ノ出資者ニ對シ二週間以内ニ出資證券ヲ交易營團ニ提出スベキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ提出ナキ出資證券ハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ場合ニ於テハ交易營團ハ遲滞ナク失効シタル出資證券ノ番號並ニ其ノ出資者ノ氏名及住所ヲ公告スルコトヲ要ス

第十條 交易營團ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 資本金額、出資及資産ニ關スル事項

五 役員ニ關スル事項

六 業務及其ノ執行ニ關スル事項

七 會計ニ關スル事項

八 公告ノ方法

定款ハ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ變更スルコトヲ得

第十一條 交易營團ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十二條 交易營團ニハ營業稅ヲ課セズ

第十三條 交易營團ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 交易營團ニ非ザル者ハ交易營團又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第十五條 民法第四十四條、第五十條、第五十四條及第五十七條並ニ非訟事件手續法第三十五條第一項ノ規定ハ交易營團ニ之ヲ準用ス

第二章 職員

第十六條 交易營團ニ役員トシテ總裁一人、副總裁二人、理事五人以上、監事三人以上及評議員若干人ヲ置ク

總裁ハ交易營團ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副總裁ハ定款ノ定ムル所ニ依リ交易營團ヲ代表シ總裁ヲ輔佐シテ交易營團ノ業務ヲ掌理シ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ交易營團ヲ代表シ總裁及副總裁ヲ輔佐シテ交易營團ノ業務ヲ掌理シ總裁及副總裁共ニ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁及副總裁共ニ缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ交易營團ノ業務ヲ監査ス

評議員ハ交易營團ノ業務ニ關スル重要事項ニ付總裁ノ諮問ニ應ジ又ハ總裁ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第十七條 總裁、副總裁、理事、監事及評議員ハ政府之ヲ命ズ

總裁、副總裁及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年トス

第十八條 總裁、副總裁及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ從タル事務所ノ業務ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行為ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選任スルコトヲ得

第十九條 總裁、副總裁及理事ハ他ノ職業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條 交易營團ノ役員共ノ他ノ職員ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第三章 業務

第二十一條 交易營團ハ左ノ業務ヲ行フ

一 物資ノ輸出及輸入並ニ之ニ伴フ當該物資ノ買入及賣渡

二 重要物資ノ保有、買入及賣渡

三 前二號ノ業務ニ附帶スル業務

交易營團ハ政府ノ認可ヲ受ケ前項ノ業務ノ外交易營團ノ目的達成上必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第一項第一號ノ輸出及輸入ノ業務ノ範圍ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

交易營團ハ第一項第一號及第二號ノ業務ニ付テハ政府ノ定ムル計畫ニ依リテ之ヲ行フベシ

第二十二條 交易營團ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ契約ニ依リ法人其ノ他ノ團體ヲシテ前條第一項ノ業務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得

前條第四項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ法人其ノ他ノ團體ガ同條第一項ノ業務ヲ取扱フ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依リ同項ノ法人其ノ他ノ團體ガ同項ノ業務ヲ行フ場合ニ於テハ同項ノ法人其ノ他ノ團體ノ役員又ハ使用人ニシテ同項ノ業務ニ從事スルモノハ之ヲ交易營團ノ當該業務ニ從事スル職員ト看做ス

第二十三條 交易營團ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ物資ノ生産、輸出、輸入、販賣又ハ保管ヲ業トスル者ヲシテ交易營團ノ所有スル重要物資ノ保管ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ保管ニ要シタル費用ハ交易營團ノ負擔トス

第二十四條 交易營團必要アリト認ムルトキハ輸出若ハ輸入ヲ業トスル者又ハ業務ニ關シ重要物資ヲ所有若ハ保管スル者ニ對シ其ノ輸出若ハ輸入ノ狀況又ハ所有若ハ保管ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

交易營團必要アリト認ムルトキハ政府ノ認可ヲ受ケ職員ヲシテ前項ニ掲グル者ノ業務ニ關スル帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

第四章 會計

第二十五條 交易營團ノ事業年度ハ毎年四月ヨリ翌年三月迄トス

第二十六條 交易營團ハ設立ノ時及毎事業年度ノ初ニ於テ財産目録、貸借對照表及損益計算書ヲ作成シ定款ト共ニ之ヲ各事務所ニ備置クコトヲ要ス

第五章 監督及補助

第二十七條 交易營團ハ政府ノ監督スルコトニ依リ之ヲ監督ス

第二十八條 交易營團ハ業務開始ノ際業務ノ方法ヲ定メ政府ノ認可ヲ受ケベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二十九條 交易營團借入金ヲ爲サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受ケベシ

第三十條 交易營團剩餘金ノ處分ヲ爲サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受ケベシ

第三十一條 交易營團ハ命令ノ定ムル所ニ依リ剩餘金中ヨリ準備金ノ積立ヲ爲スベシ

第三十二條 交易營團ノ毎事業年度ニ於ケル配當シ得ベキ剩餘金額ガ政府以外ノ出資者ノ拂込出資金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達セザルトキハ政府ハ之ニ達セシムベキ金額ヲ補給スベシ但シ其ノ額ハ政府以外ノ出資者ノ拂込出資金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ相當スル額及第二十一條第一項第二號ノ業務ノ爲借入レタル借入金ノ利息ニシテ當該事業年度ニ於テ支拂ヒタル額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ズ

毎事業年度ニ於ケル配當シ得ベキ剩餘金額ガ政府以外ノ出資者ノ拂込出資金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ハ先ヅ之ヲ前項ノ規定ニ依ル補給金ノ償還ニ充ツベシ

前條ノ準備金中損失ノ填補又ハ配當準備ノ爲積立テタル金額ハ後事業年度ニ於ケル第一項ノ規定ニ依ル補給金ノ計

算ニ付テハ之ヲ配當シ得ベキ剩餘金ト看做ス

第三十三條 交易營團ハ毎事業年度ニ於ケル配當シ得ベキ剩餘金額(前條第二項ノ規定ニ依リ償還ニ充ツベキ金額アルトキハ之ヲ控除シタル殘額トス以下同ジ)ガ政府以外ノ出資者ノ拂込出資金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過セザルトキハ政府ノ出資ニ對シ剩餘金ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ

交易營團ハ毎事業年度ニ於ケル配當シ得ベキ剩餘金額ガ拂込出資金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達セザル場合ニ於テ政府以外ノ出資者ノ拂込出資金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ヲ政府ニ配當スベシ

第三十四條 交易營團ガ第三十二條第一項ノ規定ニ依リ受ケル補給金ハ法人税法ニ依ル所得及臨時利得税法ニ依ル利益ノ計算上之ヲ益金ニ算入セズ

第三十五條 政府ハ交易營團ニ對シ第二十一條第一項第一號ノ輸出及輸入ニ伴フ價格差損ヲ補償スル爲價格差損補償金ヲ交付スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ契約ハ之ニ基キ交付スベキ價格差損補償金ノ總額ガ帝國議會ノ協賛ヲ經タル金額ヲ超エザル範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第一項ノ價格差損ヲ決定スル基準ハ政府ノ決定ム

第三十六條 政府ハ交易營團ニ對シ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十七條 政府ハ交易營團ノ役員ノ行

爲ガ法令、定款又ハ政府ノ命令ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他交易營團ノ業務運営上役員ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第六章 罰則

第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 正當ノ事由ナクシテ第二十三條第一項ノ規定ニ依リ保管ヲ爲サザル者
二 第二十四條第一項ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル者
三 第二十四條第二項ノ規定ニ依リ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

第三十九條 人又ハ法人ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ人又ハ法人ノ業務ニ關シ前條第一號又ハ第二號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ人又ハ法人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第四十條 第三十八條第一號及第二號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十一條 左ノ場合ニ於テハ交易營團ノ總裁、副總裁、理事又ハ監事ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ
二 本法ニ規定セザル業務ヲ營ミタル

トキ

三 第二十一條第四項ノ規定ニ違反シ
政府ノ定ムル計畫ニ依ラズシテ業務
ヲ行ヒタルトキ

四 政府ノ監督上ノ命令又ハ處分ニ違
反シタルトキ

第四十二條 第二十二條第一項ノ規定ニ
依リ交易營團ノ業務ノ一部ヲ取扱フ法
人其ノ他ノ團體同條第二項ノ規定ニ違
反シ政府ノ定ムル計畫ニ依ラズシテ業
務ヲ取扱ヒタルトキハ當該法人其ノ他
ノ團體ノ役員ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス
第四十三條 左ノ場合ニ於テハ交易營團
ノ總裁、副總裁、理事又ハ監事ヲ五百
圓以下ノ過料ニ處ス

一 第九條第六項ノ規定ニ違反シ公告
ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ
爲シタルトキ

二 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令
ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ
不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

三 第二十六條ノ規定ニ違反シ書類ヲ
備置カザルトキ又ハ其ノ書類ニ記載
スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記
載ヲ爲シタルトキ

第四十四條 第十四條ノ規定ニ違反シ交
易營團又ハ之ニ類似スル名稱ヲ用ヒタ
ル者ハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第四十五條 本法施行ノ期日ハ各規定ニ
付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條 重要物資管理營團法ハ之ヲ
廢止ス但シ本法施行前從前ノ罰則ヲ適
用スベカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ規
定ニ依ル

第四十七條 政府ハ設立委員ヲ命ジ交易
營團ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシム
第四十八條 設立委員ハ定款ヲ作成シ政
府ノ認可ヲ受クベシ

第四十九條 前條ノ認可アリタルトキハ
設立委員ハ遲滞ナク二億三千萬圓ノ出
資ノ引受ヲ政府ニ稟請シ且總出資ヨリ
重要物資管理營團ノ出資ニ引當ツベキ
出資及政府ノ割當ツベキ出資ヲ控除シ
タル殘餘ノ出資ニ付出资者ヲ募集スベ
シ

第五十條 設立委員ハ前條ノ募集ヲ終リ
タルトキハ出資申込書ヲ政府ニ提出シ
設立ノ認可ヲ申請スベシ
前項ノ認可ヲ受ケタルトキハ設立委員
ハ遲滞ナク重要物資管理營團ノ出資ニ
引當ツベキ出資以外ノ出資ニ付第一回
ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第五十一條 前條第二項ノ拂込完了シタ
ルトキハ設立委員ハ遲滞ナク其ノ事務
ヲ交易營團總裁ニ引繼グベシ
總裁前項ノ事務ノ引繼ヲ受ケタルトキ
ハ總裁、副總裁、理事及監事ノ全員ハ
設立ノ登記ヲ爲スベシ
交易營團ハ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ
成立ス

第五十二條 交易營團ノ成立ニ依リ重要
物資管理營團ハ之ニ吸收セラルモノ
トシ重要物資管理營團ノ權利義務ハ交
易營團ニ於テ之ヲ承繼ス

第五十三條 本法ニ規定スルモノノ外交
易營團ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅
令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十四條 登錄稅法中左ノ通改正ス
第十九條第七號中「重要物資管理營團」

ヲ「交易營團」ニ、「重要物資管理營團
法」ヲ「交易營團法」ニ改ム
第五十五條 印紙稅法中左ノ通改正ス
第五條第六號ノ六ヲ左ノ如ク改ム
六ノ六 交易營團ノ發スル出資證券

〔國務大臣岸信介君演壇ニ登ル〕
○國務大臣〔岸信介君〕 只今議題ト相成リ
マシタ交易營團法案ノ提案理由ヲ御說明致
シマス、現下ノ決戰段階ニ於キマシテハ、
一切ノ施策ヲ綜合戰力増強ノ爲ニ集中動員
セネバナラスコトハ、申ス迄モナイ所デア
リマシテ、我が國現下ノ交易政策モ、亦此
ノ線ニ沿ヒ、強力ニ推進セラレネバナラス
ノデアリマス、從ヒマシテ我が國現下ノ交
易政策ノ基調ト致シマシテハ、物資動員計
畫ノ一翼ヲ成ス交易計畫ヲ、計畫通り迅速
ニ且的確ニ遂行スルコトニアラルデアリマ
ス、然ルニ此ノ交易ノ實施ニ付キマシテハ、
各地域ノ物價ノ相違、其ノ他諸種ノ障礙ガ
横ッテ居ルノデアリマシテ、是等ノ障礙ヲ調
整スルト共ニ、財政的負擔ヲ出來ルダケ輕
減シツ、計畫交易ヲ強力ニ遂行致サネバナ
ラスノデアリマス、而シテ之ガ爲ニハ、各
地域ニ互リ各輸出及輸入物資ヲ有機的且一
元的ニ操作スルコトガ、絕對ニ緊要ト認メ
ラレルデアリマス、併シナガラ現在ノ多
元的交易統制機構、及ビ間接的ナ統制方法
ヲ以テ致シマシテハ、其ノ目的ヲ十分ニ達
成スルコトガ出來ナイト存ゼラレルデア
リマス、玆ニ交易營團ヲ設置致シマシテ、
交易ノ統制運營ノ一元の中樞機關トシテ、
其ノ責任ニ於テ計畫交易ノ迅速且的確ナル
遂行ヲ爲サシメムトスル次第デアリマス、
尙重要物資管理營團ノ業務ハ、最近ノ物資
需給狀況ニ鑑ミマスルトキハ、近來益々交易

部門ト密接不可分ト相成リマシタノデ、此
ノ際交易營團ニ重要物資管理營團ノ業務ヲ
繼承セシメムトスルモノデアリマス、以上
ヲ以チマシテ提案理由ニ關スル御說明ヲ終
リマスルガ、何卒御審議ノ上速カニ御協賛
アラムコトヲ希望致ス次第デアリマス
○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ
交易營團法案ハ、石油專賣法案外一件ノ特
別委員ニ併託セラレムコトノ動議ヲ提出致
シマス

○子爵秋田重季君 贊成
○議長〔伯爵松平賴壽君〕 戸澤子爵ノ動議
ニ御異議ゴザイマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長〔伯爵松平賴壽君〕 御異議ナイト認
メマス

○議長〔伯爵松平賴壽君〕 日程第二、木炭
需給調節特別會計法中改正法律案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會、谷口大藏次官
木炭需給調節特別會計法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十八年二月十六日
衆議院議長 岡田 忠彦

貴族院議長伯爵松平賴壽殿
木炭需給調節特別會計法中改正法律案
木炭需給調節特別會計法中左ノ通改正ス
「木炭需給調節特別會計法」ヲ「薪炭需給
調節特別會計法」ニ改ム
第一條及第四條中「木炭」ヲ「薪炭」ニ改ム
附則

本法ハ昭和十八年度ヨリ之ヲ施行ス
昭和十七年法律第二十七號中「木炭需給

調節特別會計「薪炭需給調節特別會計」ニ改ム

〔政府委員谷口恒二君演壇ニ登ル〕

○政府委員(谷口恒二君) 只今議題トナリマシタ木炭需給調節特別會計法中改正法律案提出ノ理由ヲ説明致シマス、現下ニ於ケル薪ノ需給ノ實情ニ顧ミマシテ、政府ハ、木炭ト同様ニ薪ニ付テモ、政府ニ於テ之ガ買入、賣渡又ハ貯藏ヲ行ヒマシテ、其ノ需給ノ調節ヲ圖ルコト致シタノデアリマスルガ、之ニ關スル歳入歳出ハ、之ヲ木炭ノ需給調節ニ關スル歳入歳出ト共ニ、一括經理スルノヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題ニ上リマシタ木炭需給調節特別會計法中改正法律案ハ、農業保險法中改正法律案外二件ノ特別委員ニ併セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第三、昭和十六年度第一豫備金支出ノ件、日程第四、昭和十六年度特別會計第一豫備金支出ノ件、日程第五、昭和十六年度特別會計豫備費支出ノ件、日程第六、昭和十七年度第二豫備金支出ノ件、日程第七、昭和十七年度特別會計第二豫備金支出ノ件、日程第八、昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議是等ノ六件ヲ一括致シマシテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、谷口大藏次官

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第三、昭和十六年度第一豫備金支出ノ件、日程第四、昭和十六年度特別會計第一豫備金支出ノ件、日程第五、昭和十六年度特別會計豫備費支出ノ件、日程第六、昭和十七年度第二豫備金支出ノ件、日程第七、昭和十七年度特別會計第二豫備金支出ノ件、日程第八、昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議是等ノ六件ヲ一括致シマシテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、谷口大藏次官

過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議是等ノ六件ヲ一括致シマシテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、谷口大藏次官

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメニ載録ス〕

昭和十六年度第一豫備金支出ノ件
昭和十六年度特別會計第一豫備金支出ノ件
昭和十六年度特別會計豫備費支出ノ件
昭和十七年度第二豫備金支出ノ件
昭和十七年度特別會計第二豫備金支出ノ件
昭和十七年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ
因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十八年二月十六日
衆議院議長 岡田 忠彦
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

〔各案ハ浩瀚ニ付掲載ヲ略ス〕

〔政府委員谷口恒二君演壇ニ登ル〕

○政府委員(谷口恒二君) 只今議題ニ供セラレマシタ昭和十六年度第一豫備金支出ノ件外事後承諾ヲ求ムル件五件ニ付大體ノ御説明ヲ致シマス、昭和十六年度一般會計第一豫備金ノ豫算額ハ四千萬圓デアリマシテ、昭和十六年度勅令第八百二十二號ニ依リ補充致シマシタ金額ハ、三千九百九十餘萬圓デアリマス、今其ノ重要ナル事項ヲ申述ベマスレバ、警察費連帶支辨金、國民學校教

員俸給分擔金、軍事扶助費、輸出資金融通損失補償金等デアリマス、次ニ昭和十六年度ニ於テ第一豫備金ヨリ豫算超過支出ヲ致シマシタ特別會計ハ、印刷局、專賣局、金資金、關東局、陸軍造兵廠、米穀需給調節、木炭需給調節、農業再保險、漁船再保險、家畜再保險、通信事業、朝鮮總督府、朝鮮簡易生命保險、臺灣總督府、臺灣米穀移出管理、樺太廳、南洋廳、健康保險、職員健康保險、船員保險、簡易生命保險、郵便年金ノ二十二特別會計デアリ、又豫備費ヨリ豫算超過支出ヲ致シマシタモノハ、陸軍製絨廠、米穀需給調節、通信事業、帝國鐵道、臺灣米穀移出管理ノ五特別會計デアリマス、次ニ昭和十七年度一般會計第二豫備金ノ豫算額ハ八億圓デアリマスガ、内、昭和十七年四月二十二日ヨリ同年十二月二十四日ニ至ル間ニ於テ支出致シマシタ金額ハ、六億四千八百餘萬圓デアリマシテ、其ノ重要ナル事項ハ、在支敵產購入費、損害保險、國營再保險特別會計ニ繰入、金屬類特別回收諸費、各種災害費、地方職員臨時家族手當補助、教員戰時勤勉手当補助、外交官等交換諸費等デアリマス、次ニ昭和十七年度ニ於テ第二豫備金ヲ以テ豫算外支出ヲ致シマシタ特別會計ハ、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳及關東局ノ四特別會計デアリ、又豫備金外ニ於テ、其ノ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過又ハ豫算外ノ支出ヲ致シマシタモノハ、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ三特別會計ガアルデアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御承諾アラムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ昭和十六年度第一豫備金支出ノ件外五件ノ特別委員ノ數ヲ十二名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔高山書記官朗讀〕

昭和十六年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件) 外五件ノ特別委員

侯爵佐竹 義春君 伯爵柳澤 保承君
子爵由利 正通君 子爵京極 高銳君
太田 政弘君 男爵高崎 弓彦君
長谷川 勉夫君 男爵水谷川 忠麿君
米山 梅吉君 下出 民義君
佐々木長治君 田中 都吉君

員俸給分擔金、軍事扶助費、輸出資金融通損失補償金等デアリマス、次ニ昭和十六年度ニ於テ第一豫備金ヨリ豫算超過支出ヲ致シマシタ特別會計ハ、印刷局、專賣局、金資金、關東局、陸軍造兵廠、米穀需給調節、木炭需給調節、農業再保險、漁船再保險、家畜再保險、通信事業、朝鮮總督府、朝鮮簡易生命保險、臺灣總督府、臺灣米穀移出管理、樺太廳、南洋廳、健康保險、職員健康保險、船員保險、簡易生命保險、郵便年金ノ二十二特別會計デアリ、又豫備費ヨリ豫算超過支出ヲ致シマシタモノハ、陸軍製絨廠、米穀需給調節、通信事業、帝國鐵道、臺灣米穀移出管理ノ五特別會計デアリマス、次ニ昭和十七年度一般會計第二豫備金ノ豫算額ハ八億圓デアリマスガ、内、昭和十七年四月二十二日ヨリ同年十二月二十四日ニ至ル間ニ於テ支出致シマシタ金額ハ、六億四千八百餘萬圓デアリマシテ、其ノ重要ナル事項ハ、在支敵產購入費、損害保險、國營再保險特別會計ニ繰入、金屬類特別回收諸費、各種災害費、地方職員臨時家族手當補助、教員戰時勤勉手当補助、外交官等交換諸費等デアリマス、次ニ昭和十七年度ニ於テ第二豫備金ヲ以テ豫算外支出ヲ致シマシタ特別會計ハ、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳及關東局ノ四特別會計デアリ、又豫備金外ニ於テ、其ノ國庫剩餘金ヲ以テ豫算超過又ハ豫算外ノ支出ヲ致シマシタモノハ、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ三特別會計ガアルデアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御承諾アラムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ昭和十六年度第一豫備金支出ノ件外五件ノ特別委員ノ數ヲ十二名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔高山書記官朗讀〕

昭和十六年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件) 外五件ノ特別委員

侯爵佐竹 義春君 伯爵柳澤 保承君
子爵由利 正通君 子爵京極 高銳君
太田 政弘君 男爵高崎 弓彦君
長谷川 勉夫君 男爵水谷川 忠麿君
米山 梅吉君 下出 民義君
佐々木長治君 田中 都吉君

特別委員ノ數ヲ十二名トシ、其ノ委員ノ指名ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔高山書記官朗讀〕

昭和十六年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件) 外五件ノ特別委員

侯爵佐竹 義春君 伯爵柳澤 保承君
子爵由利 正通君 子爵京極 高銳君
太田 政弘君 男爵高崎 弓彦君
長谷川 勉夫君 男爵水谷川 忠麿君
米山 梅吉君 下出 民義君
佐々木長治君 田中 都吉君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第九、北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、日程第十、多獅島鐵道株式會社所屬新義州南市間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ兩案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、委員長公爵島津忠承君

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメニ載録ス以下之ニ倣フ〕

北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十八年二月十六日

委員長 公爵島津 忠承

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

多獅島鐵道株式會社所屬新義州南市間鐵道買收ノ爲メ公債發行ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十八年二月十六日

委員長 公爵島津 忠承

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔公爵島津忠承君演壇ニ登ル〕

○公爵島津忠承君 只今議題トナリマシタ北海道鐵道株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收ノ爲メ公債發行ニ關スル法律案外一件ノ、特別委員會ノ審查ノ經過竝ニ其ノ結果ニ付キマシテ御報告申上ゲマス、本委員會ニ付託サレマシタ二件ノ内容ハ、一ツハ内地ニ於ケル地方鐵道ノ買收デアリ、他ノ一ツハ朝鮮ニ於ケル私設鐵道ノ買收デアリマス、内地ノ私鐵買收ハ、北ハ北海道鐵道ヲ始メト致シマシテ、關東地方ノ鶴見臨港鐵道、北陸地方ノ富山地方鐵道、中部地方ノ伊那電氣鐵道、三信鐵道、風來寺鐵道、豐川鐵道、近畿地方ノ播磨鐵道、中國地方ノ宇部鐵道及ビ小野田鐵道、九州ニ於テハ小倉鐵道ト産業セメント鐵道デアリマシテ、全部デ十二ノ地方鐵道デアリ、其ノ總延長ハ二百四十餘「キロ」、建設費ノ總額ハ約七千萬圓デアリマス、又朝鮮ニ於テハ、京義線新義州南市間ヲ短絡スル多獅島鐵道ノ一部三十「キロ」餘ヲ買收セムトスルモノデアリマス、是等ノ鐵道ハ、政府ノ説明ニ依レバ、現下喫緊事デアル軍事上、産業上ノ輸送ヲ確保スル爲、何レモ極メテ重要ナルモノデ

アリマシテ、或ハ幹線輸送網ノ整備ヲ爲ス上ニ於テ、或ハ臨港地帯ノ海陸連絡施設ノ増強ノ點ニ鑑ミ、或ハ又軍事上ノ見地ヨリ、何レモ國有鐵道ニ編入シテ是ト一體ヲ成シテ運營スル爲ニ、今回は等ヲ買收スルコトニ致シタイト云フコトデアリマス、委員會ハ、二月十二日ヨリ十六日ニ至ル迄三回ニ互リ開會致シマシテ、其ノ間各委員ヨリ熱心ナル質疑ガ行ハレ、之ニ對シマシテ政府當局ヨリ詳細ナル答辯ガアッタノデアリマス、其ノ主ナルモノヲ簡單ニ御紹介申上ゲマス、先ヅ第一ハ、現下ノ情勢ニ鑑ミテ、鐵道ノ輸送力ヲ強化スルコトハ絕對ニ必要デアリ、戰時陸運ノ非常體制ヲ急速ニ確立スル上カラ言フテモ、今回ノ私鐵ノ買收ハ必要デアルト思フガ、此ノ際ニ戰時下交通ノ運營ニ對スル政府ノ所見如何、ト云フ質問ニ對シマシテ、當局ヨリ、最近ニ於ケル交通機關ノ輸送量ノ激増ハ甚ダシイモノガアル一方、輸送力ハ必ズシモ之ニ伴ハズ、政府トシテモ輸送ノ確保ト云フコトニ關シテハ鋭意努力ヲ重ネテ居ルガ、更ニ戰時陸運非常體制ノ確立ニ依リ、差當リ石炭ヲ始メトシテ海運貨物ヲ陸上ニ轉移スルコトニナリ、其ノ爲ニ陸上輸送機關ハ有機的一體トナツテ、其ノ全能力ヲ擧ゲテ刻下ノ要請ニ副フベク努力ヲ致シテ居ル、從ッテ國有鐵道タルト、私鐵タルト、又自動車タルトヲ問ハズ、現存施設ヲ活用シテ有機的聯繫ノ下ニ最大能率ヲ發揮スルヤウ、綜合的ニ運營サレナケレバナライ、特ニ私鐵ニアッテハ、鐵道軌道統制會ヲ中心トシテ私鐵ノ統制運營ヲ圖リ、國有鐵道ト緊密ナ聯繫ヲ保ッテ居ルノデアルガ、今回ハ是等ノ私鐵ノ中、國有鐵道ニ編入スル必要ノ緊切ナルモノヲ買

收スルコトト致シタノデアアル、トノ答辯デアリマシタ、次ニ、石炭以外ノ重要物資ノ輸送ニモ萬全ヲ期スル要ガアル、而モ内地ノミナラズ、大陸ニ於テモ今後は等ノ重要物資ノ資源ガ開發サレルコトニナレバ、大陸トノ間ノ連絡ニ付テモ對策ヲ講ズル必要ガアルガ、其ノ用意ハドウデアアルカ、トノ質問ニ對シマシテ、當局ヨリ、石炭以外ニモ、鉄鋼トカ鐵鋼トカ「セメント」等ノ重要物資及ビ生活必需品ノ輸送ニ關シテ十分考慮ヲ拂ヒ、重點主義ニ依リ輸送統制ノ實施ト相俟ッテ所要施設ノ整備ヲ圖ッテ居ルシ、又大陸トノ間ノ輸送ニ付テモ、毎年打合會ヲ開イテ輸送計畫ヲ樹テ常ニ緊密ナ聯繫ヲ保ッテ居ル旨ノ言明ガアリマシタ、次ニ今回ノ買收ハ相當廣範圍デアアルガ、更ニ他ニモ買收シタ方ガ宜イ鐵道ガアルト思フガ、買收代價ニ充テル公債發行額デハ買收ガ困難デアラナラバ、他ノ方法、即チ借上ゲトカ管理トカノ方法デ、國有鐵道ト一體の運營ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイカ、トノ質問ニ對シ、政府トシテモ幹線交通ヲ目的トスル鐵道ハ國有トスル方針デアツテ、更ニ廣イ買收ノ案ハ有シテ居ルガ、財政ノ見地ヨリ今回ハ是ダケニ止メタノデアリ、買收セザル鐵道ト雖モ、國有鐵道ト一體トナツテ運營出來ルヤウニ、鐵道軌道統制會ニ依ル統制運營ノ方途ヲ講ジ、或ハ必要ガアレバ、總動員法ニ基ク陸運統制令ヲ發動シテ萬全ヲ期スルコトニ致シテ居ル、又借上ゲトカ管理トカハ、企業主體トシテハ別箇ノモノガ残り、施設ノ改善其ノ他ニ徹底ヲ期シ得ラレナイト考ヘル、トノ答辯ガアリマシタ、其ノ他、買收ノ際ノ評價方法ハ如何ニスルカ、買收後ノ會社ノ存續ニ付テ、又買收ノ爲メ公債發行ニ依ル經濟界ヘ

ノ影響等ニ關シテ具體的ナ質問ガアリマシテ、評價方法ハ地方鐵道法ノ規定ニ從フコト、被買收會社ハ成ルベク事情ガ許スナラバ存續セシメ、今議會ニ提案サレテ居ル臨時租稅措置法中改正法律案ニ依リ、所得稅、法人稅、營業稅、臨時利得稅等ニ付、各會社ノ個々ノ實情ニ依リ輕減スルコト云フコトモ考ヘテ居ル、又交付公債ヲ登錄公債トスルコトモ考ヘテ居リ、債務ノ辨濟或ハ退職金等モ交付公債ニ依ルコトヲ考慮シテ居ル、被買收會社ガ不當ノ不利益ヲ蒙ルコトノナイヤウニスルト共ニ、一方公債發行ニ依ル經濟界ヘノ惡影響ニ對シテハ極力防止ノ方法ヲ講ジテ居ル、トノ答辯ガアリマシタガ、是等詳細ハ速記録ニ依リ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、斯クシテ質疑ヲ終リマシテ討論ニ移リマシタ處、一委員ヨリ、兩案ハ時局下急ヲ要スル必要ナル措置デアリ、寧ロ其ノ提案ノ遲カリシコトニ稍々遺憾ヲ感ズル次第デアツテ、兩案ニ全面的ニ賛意ヲ表スル旨ノ發言ガアリマシタ、次デ採決ニ入り、全會一致ヲ以テ原案通り可決ニ決定致シタ次第デアリマス、以上御報告ヲ終リマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、兩案ノ採決ヲ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵秋田重泰君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第二讀會
ヲ開キマス、御異議ガナケレバ、全部ヲ問題
ニ供シマス、兩案全部、委員長ノ報告通り
デ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀
會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵秋田重季君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第三讀會
ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通
リデ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認
メマス、次會ノ議事日程ハ、決定次第彙報
ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散
會致シマス

午前十時二十八分散會

貴族院議事速記録第九號正誤

頁 段 行 誤 正

一四二 四 二五 發ス 發音ス

一四三 三 一三 ラデアム ラデウム

